

# 協同組織金融機関のコミュニティへの参加を規定する「コミュニティコベナント型融資制度」の開発 - コミュニティ参加による中小企業者支援をもたらす相互扶助の仕組み -

政策・メディア研究科 2年 白石 俊栄

主査：玉村雅敏先生  
副査：飯盛義徳先生／鈴木寛先生

## 背景

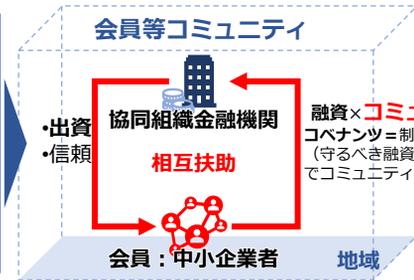
- 経営者の高齢化、事業承継人材の減少により廃業が進んでいる
  - 地方の人口減少が進むことで新規事業チャレンジのリスクも増大
  - 事業所数減少→地域の魅力減少→人口減少→地域経済の持続性低下
  - 金融機関の同質化・同組合性が活かされていない=存在意義について疑義が生じている可能性
- 地方の事業所数は減少

## コミュニティづくりこそが、 コミュニティバンクの本来業務なのではないか？

→地域性が強い協同組織金融機関（コミュニティバンク=C.B）として、会員である事業者間の相互扶助を生み出すようなC.Bだからこそ運用可能な、コミュニティ型の融資制度を開発することで会員と地域にとっての存在意義を確立する！

## 現在までの研究

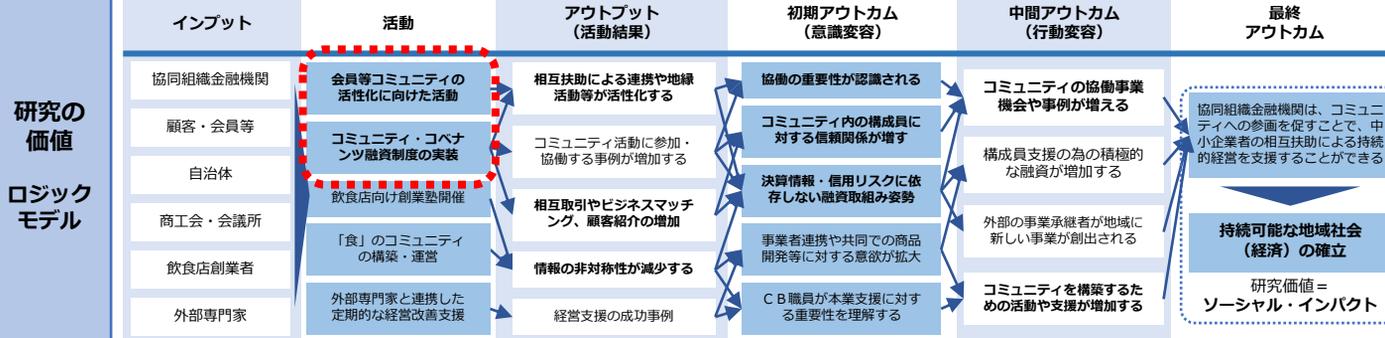
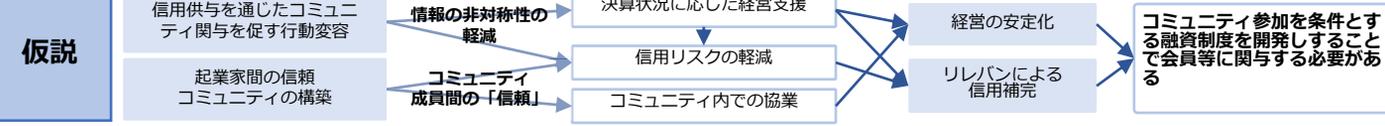
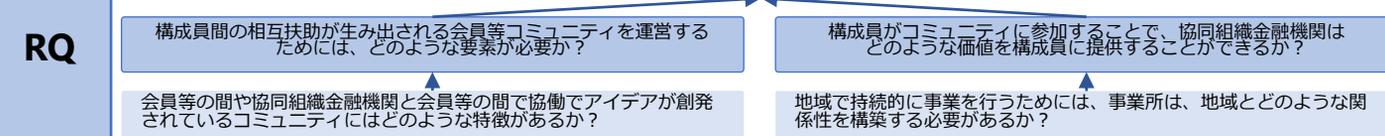
- 協同組織金融機関の抱える課題**
  - 同質化の危機感（個人的背景）
  - SCの充実したコミュニティは「リレーションシップバンク」を推進しやすい（先行研究）
- 中小企業者の抱える課題**
  - 経営者の高齢化、低い生産性（先行研究）
  - 事業の相談先は①家族に次いで②事業者コミュニティの信頼度が高い（質問紙調査）
- 中小企業者の重要性**
  - 多様性と地域密着（先行研究）
  - 雇用吸収力と付加価値額（先行研究）



## 今後の展開

- 会員間の信頼醸成を目的としたコミュニティ運営を行っているC.Bはあるか？そこではどのような活動が行われているか？
- 明らかにしたいこと
  - コミュニティ・コベナント付融資制度は必要か？
  - コミュニティコベナント融資が中小企業者支援に寄与する要素とは何か？

## RQ 協同組織金融機関が行う借り手の財務支援と事業支援を両立させるコミュニティ型の融資制度に必要な要素は何か？



## 研究デザイン

